



Obihiro Rotary Club

District 2500 Rotary International

No. 2855
第3173回例会
平成21年9月2日

2009-10年度 国際ロータリーのテーマ THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS
(ロータリーの未来はあなたの手の中に)

方針

修練

会長 清水 茂彰

■プログラム 「会員卓話」



園尾 眞一 会員

皆さん、こんにちは。本年度から新入会員としてお世話になっております園尾でございます。今日は、「私の履歴書」ということで、お話をさせていただきます。

私は、1962年（昭和37年）10月27日に兵庫県西宮市に生まれました。1962年（昭和37年）という年は、日本国内では特に大きなトピックスあった年ではなかったようです。一方で、世界に目を向けてみると、この年の10月に、「第三次世界大戦か!」という大事件が起こっています。それは、所謂「キューバ危機」でした。「キューバ危機」は、皆様ご存知のことと思いますが、概略をお話しますと。1962年10月14日にアメリカ空軍の偵察機が、キューバ国内にアメリカ本土を射程内とするソ連製の中距離弾道ミサイルを発見しました。これにより、キューバだけではなく、アメリカとソ連との関係が一挙に緊張し、アメリカ国内では「米ソの全面核戦争か!」と大騒ぎになっていたようです。そんな最中の10月27日に、私はこの世に生をうけました。因みに翌10月28日に、ソ連がミサイル撤去を発表してキューバ危機は終息しました。

入口でこんなに大風呂敷を広げましたが、その後の私の人生は、極めて平々凡々かつ極楽トポな人生をおくってまいりました。

昭和37年は、寅年です。寅年に西宮市の阪神甲子園に生まれた私は、その後、何故か縦じまのユニフォームに愛着をもつようになります。

その後、父親の仕事の都合で、東京・秋田と転勤し、小学校2年の時に、今の実家がある千葉県八千代市というところに住むようになります。小学校・中学校とマイペースな学校生活を過ごし、千葉県立佐倉高校に進学します。佐倉高校は、佐倉藩の藩校からスタートした歴史ある学校でしたが、生徒も先生も「ぬるま湯」にどっぷりつかった学校でした。

高校時代、華やかなテニス部に入るつもりでしたが、強引にラグビー部の先輩に部室に拉致され、結局、3年間毎日ラグビーをやって過ごすことになりました。小学・中学と比較的体が弱かった私ですが、3年間ラグビーをやったおかげで、体も心も少し丈夫になったようです。

その後、立教大学に進学しました。佐倉高校から立教大学に進んだ先輩には、巨人軍終身名誉監督の長嶋茂雄さんがいらっしゃいます。立教大学では、映画研究会なる軟弱なサークルに入り、自主制作の映画を作ったりしました。この大学には学園祭がなかったことから、文化系サークルの有志で学園祭に替わるイベントを立ち上げ、竹中直人さんをお招きしてフィルムフェスティバルを実施しました。当時、我々の作った自主制作映画に、竹中直人さんが、コメントを言おうとして、結局、「ん〜!」と言ったきりだったことが、作品の内容を表していると思います。

また、一応、4年間も大学に通えば学業も少しはやりませう。3年4年と、現在、東京大学の教授をされている北岡伸一先生の「日本外交史」のゼミに入り、近現代の日本外交について勉強しました。しかしなが

ら、北岡先生の私に対する役割期待は、ゼミにおける発言というより、アフターゼミの宴会要員だったように思います。しっかり、その役割職務を果たしたと自負しております。

そして、1986年（昭和61年）4月に、当時の第一勧業銀行に入行いたします。最初に、入った店は池袋副都心支店とあって、当時は日本で最も高いビルであったサンシャイン60の中にある中堅規模の店でした。その店で営業の基本を学び、その後、大阪の船場にある本町支店で、お客さまに商売の厳しさを教えていただいた後、業務開発部という新商品を開発する部署に転勤しました。業務開発部では、いくつかの新商品を企画いたしました。一番印象に残っているのは、集配金サービスという商品です。銀行では、資金流つまり、売上金の回収から資金決済までの流れを把握することが重要であると言われております。今でも、銀行の商売の基本は、まずは資金流の把握からだと思っております。

業務開発部の後、本店の営業部に転勤します。営業部では陸運業界を担当し、6年間在席しました。

そして、この営業部時代に、マラソンを始めることになりました。

その後、子会社に向向した後、いよいよ、2009年4月より、みずほ銀行帯広支店に赴任しました。

マラソンは、始めて約10年になります。最初は、家の近所をジョギングする程度だったのですが、営業部と同じようにジョギングをしている仲間と、後輩のダイエットを応援するためにもマラソン大会に出てみようということが契機となり、以降マラソン大会に毎年出走しています。

今年も、8月30日に札幌で北海道マラソンに出走し、皆様の応援のおかげで無事完走することができました。マラソンを始めて、様々な方々と出会うことができました。この帯広ロータリークラブでも、走ることに少しでも関心のある方は、是非、一緒にランニングをしましょう。

最後になりますが、歴史と伝統のある帯広ロータリークラブに入会させていただき、地域の発展に貢献できるよう、公私ともに努力して参りたいと思っておりますので、皆様のご指導をお願いできれば幸いです。今日は、最後までご清聴いただき、有難うございました。



池田 雄一 会員

先週入会しました池田雄一です。音更町共栄台に自宅があり看護学校の教員をしている妻と高校3年の長男、高校1年の長女の4人暮らしです。趣味はスキューバダイビング。

仕事は注文住宅建築のログスホームを運営し、6年目になります。

今日は私の仕事の取り組み方についてお話させていただきます。

現在「リピーターを大切にしよう」というスローガンを掲げていますが、飲食業界での意味合いとは住宅業界においては少し様子が変わります。

家を建てたお客さんがまた家を建てるリピーターになるには長い期間が必要になります。

また、業界特有の問題点が潜在します。これまでの住宅会社の仕事の一般的なやり方は常に新規のお客さんを見つけ、競合相手と価格勝

負をすることでした。そして、毎月毎月数字の達成のため社員に発破をかけていました。この事は社員との関係を悪化させ、社内の雰囲気も悪くなっていました。

そこで私はレポートの考え方を見直し、お客さんとの関係性の作り方を見直すことにしました。

再び来ていただく「場」を作り、そこに来ていただく方は住宅建築をまだ考えていない方を中心に大切に、ファンになって頂くことを重要視しました。その目的は「家を建てようと思った時、最初に思い出してもらえらる会社」になるためです。

これまでの住宅建築会社の営業パターンである、展示会→集客→見込み客→契約 といった流れから、会社のファン作りや顧客のアフターフォローに重点を置くことにより、継続した緩やかな良い関係が生まれてきました。

具体的にはニュースレターやメルマガの配信、建築をした顧客へは感謝祭、季節に合わせたイベントや運動会など実施してお客さんと触れ合う「場」を作っています。

そうすると、お客さんからお褒めの言葉や喜びの声が聞こえてくるようになり、そのことがスタッフのモチベーションアップとなりました。スタッフは会社のために働くのではなく、お客様のために働くという意思が変わり、社内の雰囲気も大きく変わりました。私は地域に必要とされ、愛される会社に成長させたいと考えています。

今後はクラブにおいても精いっぱい頑張ってお参ります。よろしくお願いいたします。

■会長報告



清水 茂彰 会長

みなさん今日は！今月に入りますと「新世代の月間」となっております。1960年代に入った時、RIで世界中の青少年が共に活動できる組織を作ろうという機運が高まりました。その様な中、1962年には世界各地で青少年に関する組織が出来てきました。日本もそれに習い、地域の若い人を育てたり支援したりする組織として、「インターアクト」14歳～18歳を対象としての組織で高校を卒業すると同時に資格を失う事になりますが、日本で一番最初は1963年に仙台育英高校INCでした。そして、インターアクトを継続する組織としての「ローターアクト」は18歳～30歳を対象としての組織で、奉仕を志向する市民と指導者を育成するための団体と位置付けられています。日本では1968年、国際商科大学RACが最初となります。

これらと連動した考えから地区主催事業が8月に行われました「ライラセミナー」でありました。

又、先週はガバナー公式訪問例会ご出席ありがとうございました。以上で会長報告と致します。

■会務報告

渡辺 喜代美 幹事

- ・地区大会の中で、9月12日（土）14:15分の本会議において、地区特別表彰（功労者）として田中弘会員がRC歴50年で表彰されます。
- ・GSEの受け入れにおいて、第6分区の帯広RCは9月23日（水）に観光中心プログラムとして「十勝千年の森」や「スケート場」見学を予定しています。
- ・ガバナーノミニの提案要請がありました。11月30日までにガバナーノミニ指名委員会へ提出。
- ・理事会からの報告で、新会員2名が承認されました。

今井 聡氏 (株)NTTドコモ北海道帯広支店 支店長

西沢 功晋氏 SMBCフレンド証券(株) 支社長

(1)帯広西RC、移動例会開催のご案内（家族野遊会）

日時 平成21年9月6日（日）午前10時

場所 御影の滝 山女魚園

※尚、9月3日（木）の繰上げ例会と致します。

(2)帯広南RC、9月21日（月）は祝日のため休会と致します。

帯広東RC、9月22日（火）は祝日のため休会と致します。

帯広RC、9月23日（水）は祝日のため休会と致します。

(3)帯広北RC、移動例会開催のご案内（家族野遊会）

日時 平成21年9月27日（日）

場所 御影の滝 山女魚園

※尚、9月25日（金）の繰下げ例会と致します。

(4)帯広RC、移動例会開催のご案内（家族野遊会）

日時 平成21年9月27日（日）

場所 十勝ヒルズ

※尚、9月30日（水）の繰上げ例会と致します。

(5)帯広西RC、ガバナー公式訪問開催のご案内

日時 平成21年9月28日（月）午後0時30分

場所 北海道ホテル

※尚、9月24日（木）の繰下げ例会と致します。

(6)帯広南RC、夜間例会開催のご案内（ガバナー公式訪問）

日時 平成21年9月28日（月）午後6時

場所 北海道ホテル

■委員会報告



・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー受賞 野村一仁ローター財団委員長

森 武夫 会員 5回目 野村 一仁 会員 4回目

奥原 宏 会員 3回目 佐藤 有功 会員 1回目

神谷 昭典 会員 1回目 松島 隆 会員 1回目

中森 保 会員 1回目

ポール・ハリス・フェロー受賞

安岡美樹男 会員

・出席報告 中森 保 副委員長

8月26日例会 会員総数95名（出席免除会員9名） 出席54名

8月19日例会のメーキャップを含む出席数及び出席率75名89.2%

9月2日例会 会員総数95名（出席免除会員9名） 出席58名

8月26日例会のメーキャップを含む出席数及び出席率72名83.7%

・ニコニコ献金

ホームページに掲載していますのでご覧ください。

■9月の誕生日



田中 弘 会員 T12.9.2 片所 幸一 会員 S23.9.21

田村 雄司 会員 S25.9.16 飛岡 抗 会員 S34.9.10

讃岐 武史 会員 S33.9.19

■配偶者誕生日

大滝 信臣 会員 奥 周盛 会員 木村 卓洋 会員

山本 博 会員 園尾 真一 会員 池田 雄一 会員

■9月の結婚祝

高橋 標 会員 S33.9.28 眞鍋 智紀 会員 S40.9.12

森 武夫 会員 S44.9.15 佐藤 有宏 会員 S46.9.22

梅安 雅満 会員 S49.9.22 酒井 敬司 会員 S55.9.14

讃岐 武史 会員 S61.9.19 野村 一仁 会員 S63.9.24

■次週プログラム予定

「ライラセミナー参加者報告」

新世代委員会



↑携帯サイトができました。バーコードリーダーで読み込むことができます。



例会日/水曜日 12:30～13:30 例会会場/ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820 ●戦後再開/昭和25年12月19日

事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行/クラブ広報 ●委員長/佐藤 真康・倉野 賢・島田 哲男・進藤 敦史・園尾 真一

竹川 博之・梅安 雅満・蔦井 秀則・中島 一晃・新田 潔

●ホームページアドレス/http://www.obihiro-rc.co.jp